# 愛南NOKOTC

〒798-4101 愛南町御荘菊川1157番地 愛南町社会福祉協議会 電話 73-7776

協力:山梨県立大学 高木寛之

### 福祉のまちづくり座談会

#### 福祉のまちづくり 座談会 in 一本松



自分たちの活動を紹介☆

いだンな域だ談サ画思地い座助 れこいど地評 みてで村「倫とんの地にき会口でい域」談け今ばときう域価今が暮懇ご第祉社思の皆域と、にン地をの「会合後で、、しのを回必ら話と2活会っくさのつあごの域叶つ地でい、き社自て人踏の要し会に回動福力とも地では出代のえな域出・人る協分い、ま座か続を開福計祉 が席表方るが住て支口このでけ愛え談をけ行催祉 と人とい者々たり民きえ減と関でば南 し緒なとうたのとめをのた合少にわき良町今はえい くにっ人ごだ皆一の再関一いやつりるいが後第まく-

み地てをざき様緒活構係皆が高いやこか にのまなま貴は取をし希健要化話政 `各んっ取幸すぐし重 `り、た薄康にがしな地地な 各ん分地 取幸すぐし重、り `域 。場たなお組今いにでな進合ど域域姿自福 +と。ご忙ん後しな元っみいののごで分祉 ご忙ん後」な元っみいののごで分祉 意しで `なっ気て `ま関方といの活 `ま関方といの活 んみ協しサ意しで んみ励しっ 息して ない えい 6000 にた身動でんもて口見い参 5 どてでき地しわとにた身動いな、、ンを中りカ様おいま域たりで考い近計きのサ重はい、ま年々りたすで 。がきえかなー たふ口要地た座す計な

れれ座11年 ど地で会 り心地5

愛南町社協の声 まゆみ 活動の卵 伊井

いつの間にか、すっかりお鍋の 恋しい季節になりました。「個食、

黙食、マスク会食を」と言われて長いですが、 鍋はみんなで食べるほうがおいしいですね。お 里帰りした2歳のひ孫は、おいしいものを食べ ると「うまっ!」と言って、みんなを笑顔にし てくれました。おいしいものを食べる時、幸せ だなあと感じます。おいしいものをおいしく食 べられるよう、いつまでも健康でいたいもので すね。

コロナ禍で、サロンでの会食もなかなかでき ない状況が続きますが、みんなでワイワイ楽し くおしゃべりしながら会食できる日常が一日も 早く戻ることを祈ります。

# -ル!サロンに届け

愛南町では、生活支援体制整備 事業の中で、生活支援コーディ ネーターとともに、住民同士の助 け合いや支え合い、地域における 人とのつながりの場づくりを支援 しています。サロンの皆様、コロ ナに負けず(感染対策をして) 一緒に地域活動を盛り上げていき 地域包括支援センター

ましょう。



坂本 涼

## サロン・みなみ

#### 楽しい美味しいお誕生日会員



-本松地域増田地区の「サロン・みなみ」さん へ訪問に行ってきました。今回は、お誕生日会を するということで、当日の朝からお赤飯を炊きお 祝膳を調理しました。お赤飯の小豆や煮物の大根 など地元の新鮮野菜が揃い、お茶も代表者さんが 葉っぱから育てたオリジナルブレンド茶が振る舞 われました。盛りだくさんのお祝膳は、どれを食 べてもとても優しい味でペロリと食べてしまいま した。楽しい会話もたくさんあり、サロンの楽し さを私も感じました。

会食後は「たまごゲーム」という、じゃんけん をして卵を取り合うゲームをしました。会員さん は、久しぶりのたまごゲームをとても楽しみにし ており、会場は真剣勝負で盛り上がりました。一 本松地域のサロンではこの「たまごゲーム」を 行っているサロンがいくつかあります。ぜひ他の サロンのみなさんも挑戦してみてください!



### サロンは一人一人を見守る地域の拠点である

「今、私がこの地域で過ごせるのは

【第3話】

サロンという居場所があったから…」

いつもサロン訪問やサロン代表者会などで、たくさんのお話を聞かせて頂くことが多いのですが、今回のお話は、サロンを休会することを決めたある代表者さんとのお話です。

「サロンが休会する」「地域にサロンが無くなる」と聞くと、とても残念なように聞こえますが、 実は、無くなるのではなくサロンが進化し少し形を変えながら、人と人とのつながりは続いて いるサロンがとても多いです。

今回、お話を伺った代表者さんの地区は、昔から住み続けている人よりも、よそから引っ越しをしてきた人が多い地区です。そのため、一軒家を建てて、子どもたちは学校へ通い、両親ともに日中はバリバリ働きに出ているので、日中は誰もいないような地区だったそうです。子どもが巣立ち、定年退職をした頃、隣近所に誰が住んでいるのかも分からない。隣近所で挨拶すらない。と気づき、孤独を感じていました。

そんな中、敬老会ではたくさんの人が集まっている所を目の当たりにし、驚き、「このままではいけない!こんなに人がいるのだから、なにか出来ないか!」と奮起し、同じ思いの仲間でサロンを立ち上げました。土地柄か、夫婦そろってサロンに参加する人が多かったことから、個々の協力する力も大きく、サロンが"わいわい"賑やかに行われるようになり、顔を合せると挨拶をし合える関係になったり、お互いを気遣う言葉が出るようになった。そうすると、地域の中にも自分の居場所が出来たり、友達が出来たりと住みやすくなったと言います。

サロンがあったからこそ、今の自分がある。サロンがなかったら、サロンに携わってなかったら、どうなっていたのか本当にわからない。今、サロン活動をしなくなっても、つながった人と人とでたまに集まったりしていこうと思います。と、穏やかに、幸せそうにお話をしていただきました。サロン活動の中、代表者もお世話人もしんどいこともあると思います。それでも、サロンの一員であり、みんなを支え、みんなに支えられているということを教えて頂きました。



じゃがいもの葉っぱの 勢いが凄い!!





可憐なじゃがいもの お花**♡** 

ぼくたち! ピーマンもまだまだ 頑張ってるよ!!!



畑づくりを教えてくれる人 いきせんか~!!



サロンだより「愛南NOKOTO」は、愛南町社会福祉協議会ホームページにも掲載しております。 スマートフォンの「バーコードリーダー」で、このQRコードを読み取り接続するとご覧いた だけます。